



物価格差の形成と新たな世界経済の現実

令和7年9月15日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

世界における新たな為替の形成と物価書く際の構築はその国の豊かさの指標である。GDPにおける生産高とともに国家の豊かさを形成するものである。

これらは他方においてグローバリズムという世界の統一化が存在し、トランプアメリカ大統領の関税政策などにおいても、その貿易体制とともに、新たな世界経済の現実を与えるものである。

これらは資本力における豊かさの格差が世界において存在するものであり、資本は金融経済における循環を世界において与えるものである。

これらは自由経済がその豊かさの生産を経済の進歩において新たな世界経済の転換を実現するものである。

資本が豊かさを生むことは真実であり、次世代産業がその未来を創造することも真実である。

今日世界は知性の進歩において新たな豊かさの創造を与えるものである。競争原理と市場原理はそれを許容するのである。

これらは経済がそのライフラインを維持することに対して新たな利便性の創造を提案することは、社会が次世代という新たな可能性への転換を有する今日、資本と技術が新たな経済の基準を形成するものである。

これらは資本力とか臭いという現実を経済において与えられる現実であるということを理解できるものである。

これらは知性という基準がその現実を相違させるものであり、それらが富の各際を創造するものである。

これらは資本主義と自由経済システムにおけるヒエラルキーの創造なのである。